

【相続により取得した家屋または家屋および土地を譲渡した場合】

(記載例)

別記様式 1-1 (被相続人居住用家屋又は被相続人居住用家屋及びその敷地等の譲渡の場合)

被相続人居住用家屋等確認申請書

申請者 住所 鳥取県鳥取市幸町71番地

氏名 空家 花子 電話 0857-30-8362

申請される方(確定申告される方)の住所・氏名・電話番号を記入
※住民票の内容

下記について確認願います。

下記家屋及びその敷地等は、「相続の時から譲渡の時まで事業の用、貸付けの用又は居住の用に供されていたことがないこと」(租税特別措置法第35条第3項第1号イ)、「相続の開始の直前において当該相続又は遺贈に係る被相続人(包括遺贈者を含む。以下同じ。)の居住の用(居住の用に供することができない事由として政令で定める事由(※1)(以下「特定事由」という。)により当該相続の開始の直前において当該被相続人の居住の用に供されていなかった場合(政令で定める要件(※2)を満たす場合に限る。)における当該特定事由により居住の用に供されなくなる直前の当該被相続人の居住の用(以下「対象従前居住の用」という。)を含む。)に供されていた家屋」(同条第4項柱書)及び「相続の開始の直前において被相続人以外に居住をしていた者がいなかったこと(当該被相続人の当該居住の用に供されていた家屋が対象従前居住の用に供されていた家屋である場合には、当該特定事由により当該家屋が居住の用に供されなくなる直前において当該被相続人以外に居住をしていた者がいなかったこと)」(同項第3号)に該当すること
(※1) 通知における特定事由と同じ。(※2) 通知における老人ホーム等入所中要件と同じ。

申請被相続人居住用家屋及びその敷地等(※3)の所在地 (敷地の所在地番)	鳥取県鳥取市尚徳町116番			← 売買契約書等記載の所在地を記入	
申請被相続人居住用家屋の建築年月日(※4)	昭和50年 4月 30日			← 登記事項証明書の新築年月日を記入	
被相続人の氏名及び住所	(住所)	鳥取県鳥取市尚徳町116番地			← 被相続人(亡くなられた方)の除票住民票記載されている氏名・住所を記入
	(氏名)	空家 太郎	申請者からみた続柄	父	
相続開始日(被相続人の死亡日)	令和2年 11月 3日	譲渡日(※5)	令和3年 3月 13日		
申請被相続人居住用家屋又はその敷地等の取得をした他の相続人の氏名及び住所 ※書ききれない場合は別紙 申請者以外に取得した相続人がいる場合はその相続人の住所・氏名を記入 ※住民票の内容 ※申請者の氏名等は記載しないでください。	<input checked="" type="checkbox"/> 家屋	(住所)	鳥取県鳥取市幸町151番地		← 売買契約書記載の「引渡日」を記入。契約書で確認できない場合は、登記事項証明書記載の売買の日
	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地等	(氏名)	空家 次郎		
	<input checked="" type="checkbox"/> 家屋	(住所)	鳥取県鳥取市富安二丁目138番地4		
	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地等	(氏名)	空家 三郎		

(※3) 申請被相続人居住用家屋及びその敷地等は、被相続人から相続又は遺贈(贈与者の死亡により効力を生ずる贈与を含む。)により相続人(包括受遺者を含む。以下同じ。)が取得したものに限る。

(※4) 申請被相続人居住用家屋は、昭和56年5月31日以前に建築されたものに限る。

(※5) 申請被相続人居住用家屋又はその敷地等の譲渡は、相続開始日から同日以後3年を経過する日の属する年の12月31日までの間にしたものに限り。

切り取らずにそのまま提出

被相続人居住用家屋等確認書

上記について確認しました。

※市区町村記入欄

確認年月日	年 月 日
確認を行った市区町村長	印

記入していただく必要はありません